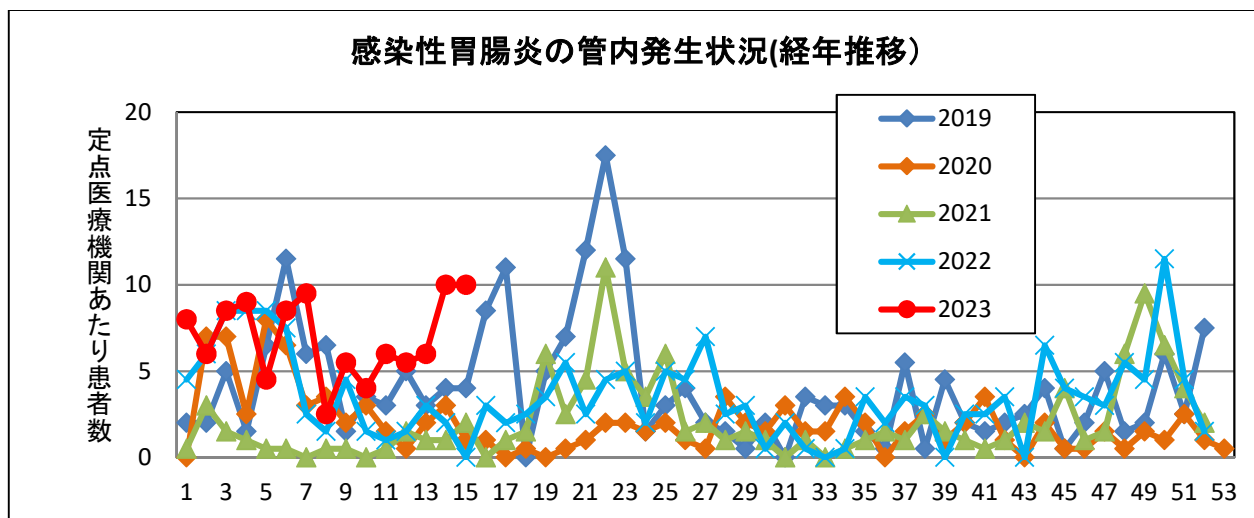


管内では、感染性胃腸炎が先週に引き続き定点あたり患者数が10名で、依然報告数の多い状況が続いています。



<感染症に関する情報>

◆[兵庫県ホームページ](#)

[兵庫県感染症情報センター](#)

◆[国立感染症研究所ホームページ](#)

[感染性胃腸炎とは](#)

3 県内の感染症発生状況（サル痘、SFTS）

(1) サル痘について

4月11日に県内居住者における1例目のサル痘患者の発生について厚生労働省から発表されました。サル痘は、感染症法上の四類感染症に位置づけられており、サル痘ウイルスによる急性発疹性疾患です。令和5年3月以降、国内での感染例が増加しています。治療法は、対症療法が中心となりますが、そのほとんどは軽症で、2～4週間で治癒するケースが多いとされています。過剰に心配する必要はありませんが、発熱、発疹等の気になる症状がある場合は、かかりつけ医や最寄りの健康福祉事務所（保健所）にご相談ください。

<サル痘に関する情報>

◆[兵庫県ホームページ](#)

[サル痘患者の発生について](#)

◆[国立感染症研究所ホームページ](#)

[サル痘とは](#)

(2) 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について

4月12日に重症熱性血小板減少症候群（以下、SFTS）の患者が県内で確認されました。SFTSは、主にSFTSウイルスを保有するマダニに咬まれることで感染します。マダニは春から秋にかけて活動期であることから、草むらや藪などマダニが多く生息する場所に入

る場合には、マダニに咬まれないよう長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用して肌の露出を少なくするなど、感染予防策をお願いします。

なお、SFTSは、人から人への感染はほとんどありません。

<重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[重症熱性血小板減少症候群（SFTS）患者の発生](#)

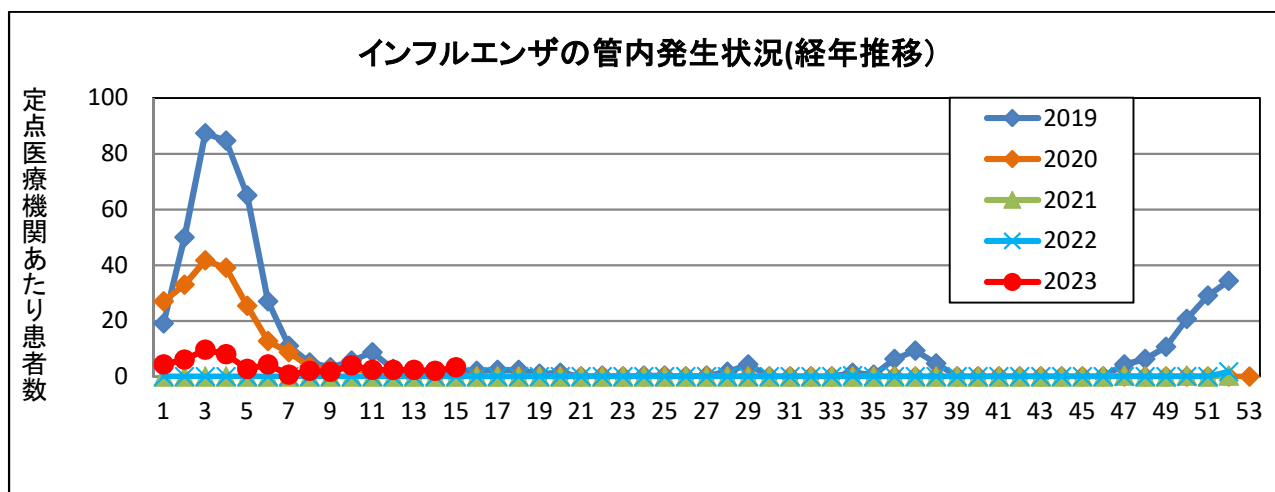
[マダニに注意!ダニ媒介感染症について](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[重症熱性血小板減少症候群（SFTS）とは](#)

4 インフルエンザについて

管内のインフルエンザの定点あたり患者数は、今週 3.3 人（先週 2 人）と増加し、県内の定点あたり患者数は、今週 1.48 人（先週 1.77）と減少しました。感染防止対策は新型コロナ対策と共通していますので、感染拡大を防ぐためにも引き続き基本的な感染対策をお願いします。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。



◆兵庫県ホームページ

[インフルエンザ疾患の発生状況\(学級閉鎖・集団発生\)](#)

[兵庫県インフルエンザ情報センター](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[インフルエンザ](#)